

今後の天候について

2017/3/17

株式会社ウェザーマップ

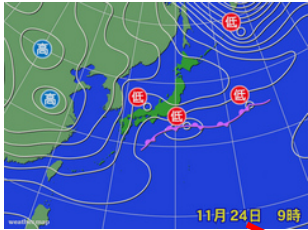
107-0052 東京都港区赤坂5-4-7 いちご赤坂五丁目ビル6F

TEL:03-3224-1785/FAX:03-3224-1786

<http://www.weathermap.co.jp/>



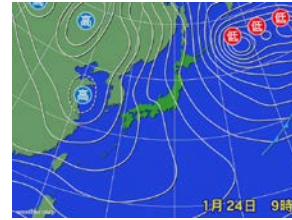
2016/17年冬の振り返り



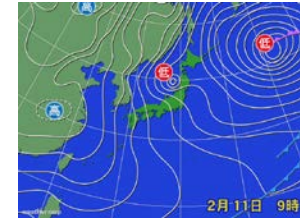
東京初雪
11月の観測は54年ぶり



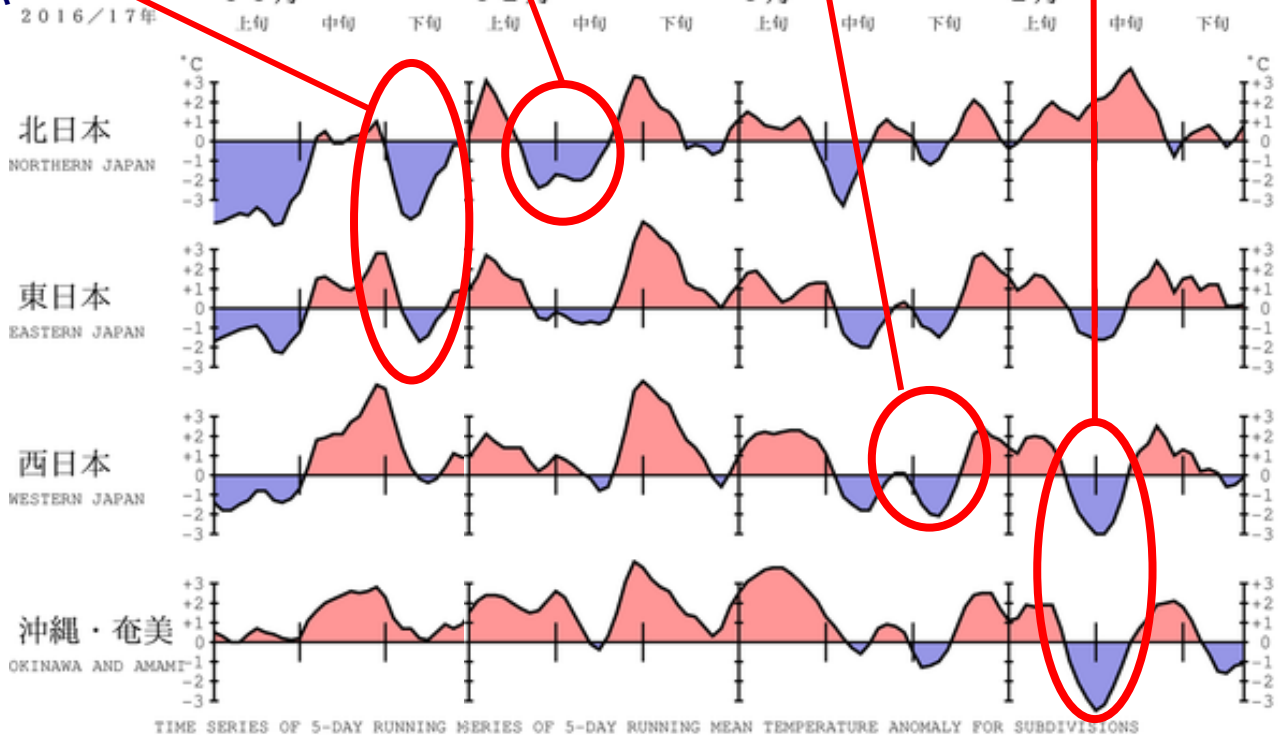
札幌 記録的降雪



鳥取でトラックなど立ち往生



鳥取 33年ぶり90センチ超



TIME SERIES OF 5-DAY RUNNING MEAN TEMPERATURE ANOMALY FOR SUBDIVISIONS

地域平均気温平: 地域平均気温年差の5日移動平均時系列

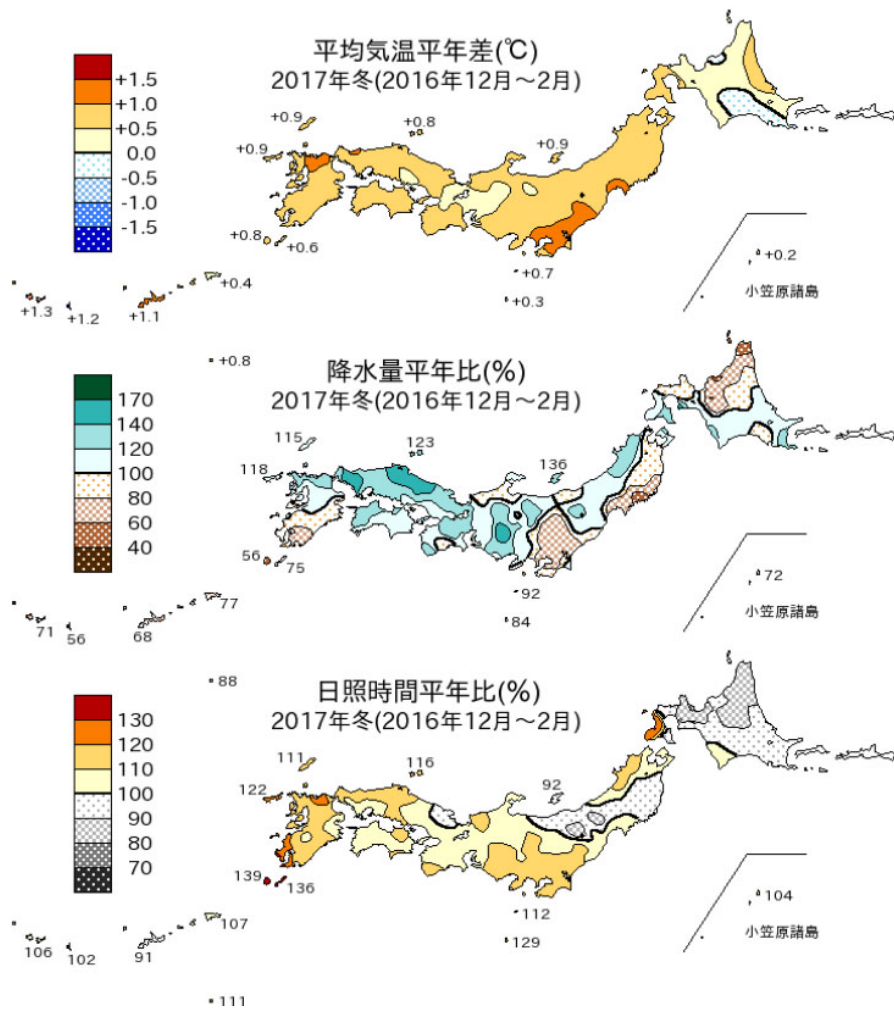
更新日: 2017年3月10日

Copyright weathermap.Co.,Ltd. All rights reserved. Confidential





全国的に暖冬となった



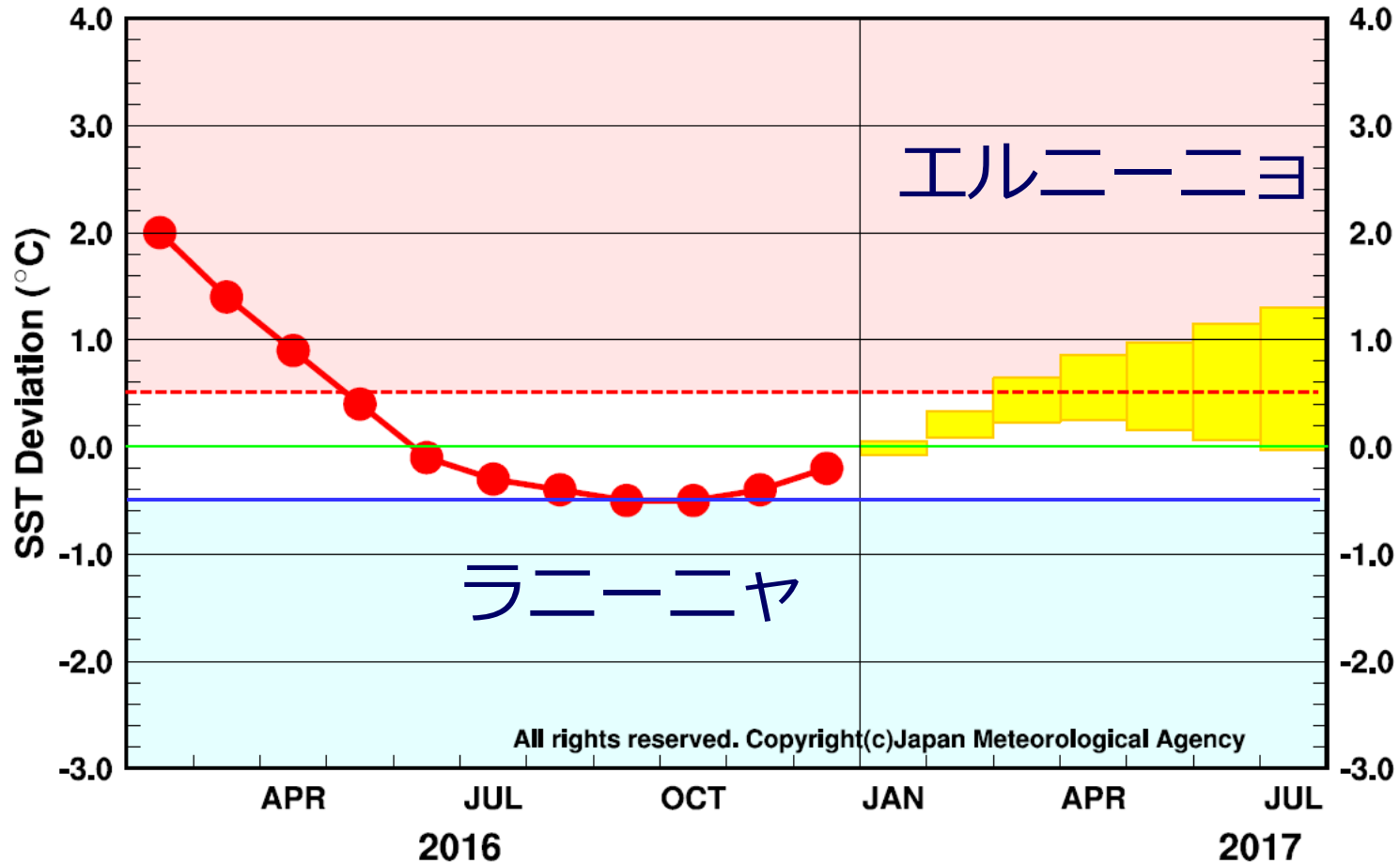
日本付近は、寒気の南下が弱く、気温の高い日が多かったため、**全国的に高温**となった。一時的に強い寒気が南下することがあり、気温の変動が大きかった。

冬の降雪量は、北日本の日本海側でかなり少なく、東日本の日本海側で少なかった。ただ、**西日本の日本海側では強い寒気が南下した1月中旬~下旬前半と2月上旬後半~中旬前半には大雪**となり、交通障害や農業施設被害など発生した。

日照時間は、東・西日本太平洋側でかなり多かった。



エルニーニョ／ラニーニャ現象の経過と予測



All rights reserved. Copyright(c)Japan Meteorological Agency

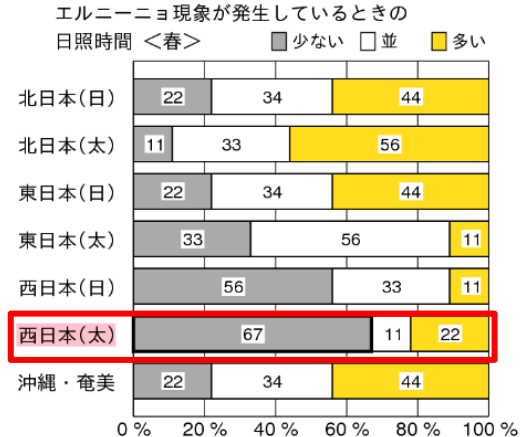
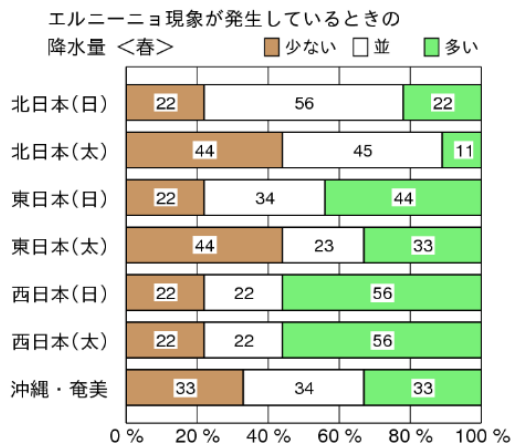
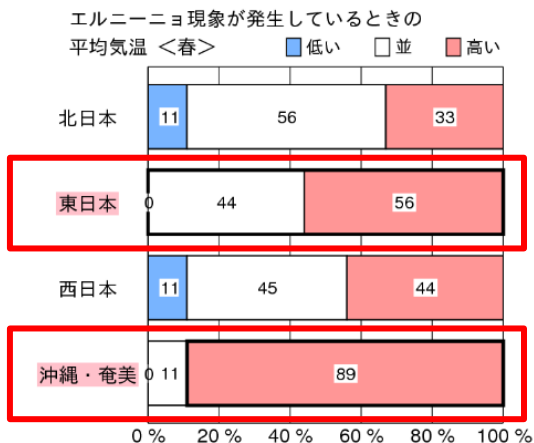


エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過と予測

- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態が続いている。(3/10気象庁発表)
- 春から夏にかけて、エルニーニョ現象が発生する可能性もある（40%）が、**平常の状態が続く可能性の方がより高い（60%）**。(3/10気象庁発表)
- 今年エルニーニョ現象が発生する確率がここ2週間で上昇しており、**今後6カ月以内に復活する可能性は50%**の見通し（2/28豪気象局発表）
- 8つの予測モデルのうち6つが、7月までのエルニーニョ現象の発生を示唆している。（3/14豪気象局発表）



エルニーニョ現象発生時の日本の春（3～5月）の天候



平均気温 : 沖縄・奄美で高い傾向。東日本で並が高い傾向。

降水量 : なし。

日照時間 : 西日本太平洋側で少ない傾向。

エルニーニョ現象発生時の春（3～5月）の天候の特徴
計期間1958年～2012年。棒グラフの数字は出現率を示す。
地域名の赤い帯と棒グラフの太黒枠は統計的に有意な傾向を示す。



3~5月の予報 (平均気温)

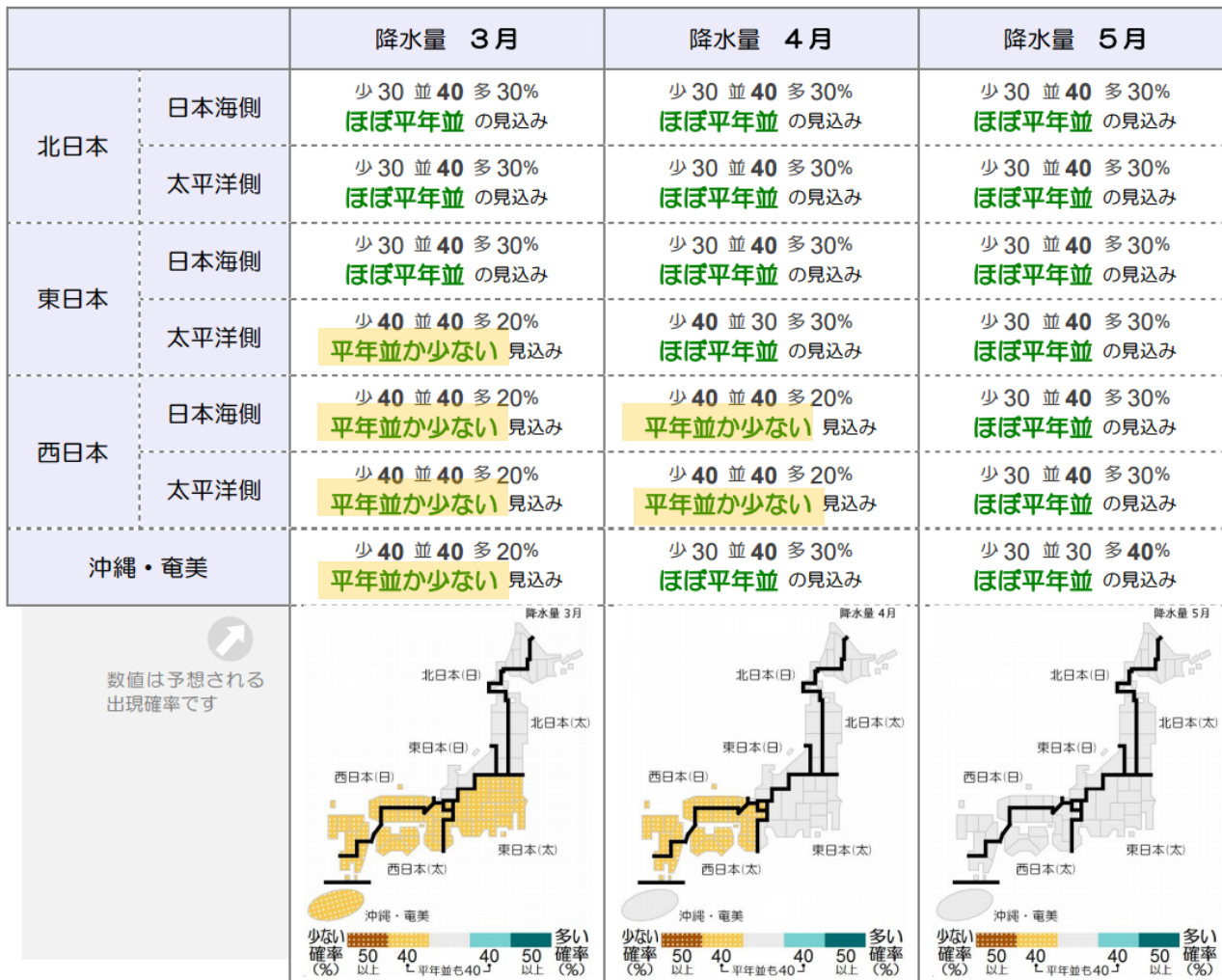
	平均気温 3月	平均気温 4月	平均気温 5月
北日本	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
東日本	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
西日本	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み
沖縄・奄美	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み

↑

数値は予想される
出現確率です

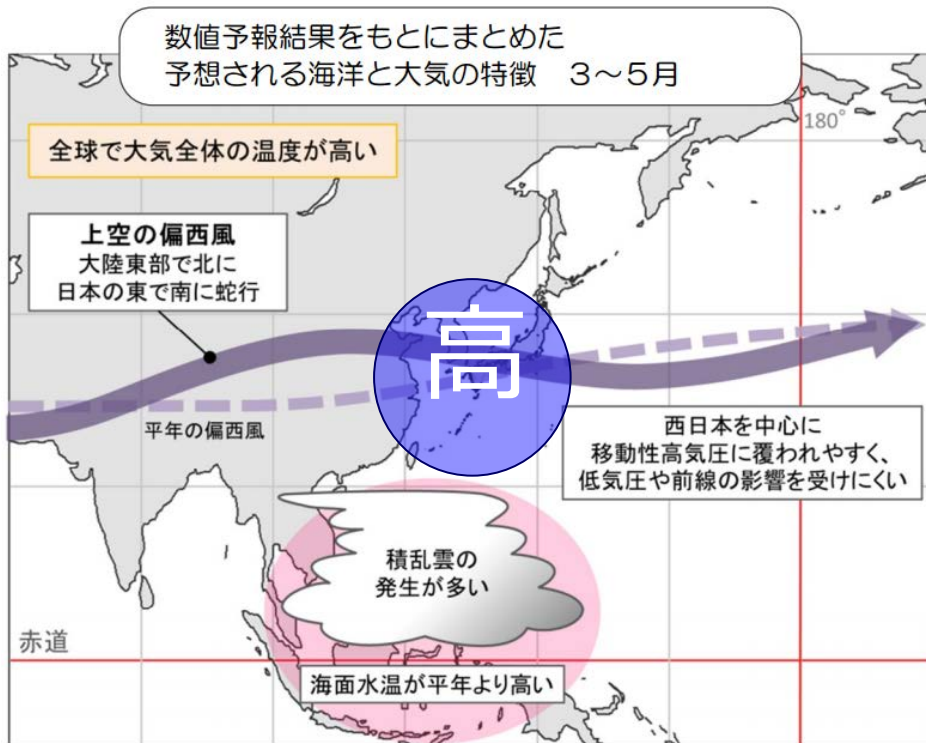


3~5月の予報 (降水量)





2017年 春の天候



【3~5月】

全球で大気全体の温度が高いでしょう。

沖縄・奄美と西日本では、暖かい空気に覆われやすく、気温は高い見込みです。北・東日本でも平年並か高いでしょう。

西日本と東日本の太平洋側では、移動性高気圧に覆われやすく、低気圧や前線の影響を受けにくいいため、降水量は平年並か少ない見込みです。



6~8月の予報 (2/24発表 暖候期予報)

		平均気温 夏(6~8月)	降水量 夏(6~8月)	降水量 梅雨の時期※
北日本	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
東日本	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美		低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み

↑
数値は予想される
出現確率です

平均気温 夏(6~8月)

北日本
西日本
東日本
沖縄・奄美

低い 確率 (%) 50 40 50 高い 確率 (%)
↑ 平年並も40% 以上

降水量 夏(6~8月)

北日本(日)
東日本(日)
北日本(太)
西日本(日)
東日本(太)
西日本(太)
沖縄・奄美

少ない 確率 (%) 50 40 50 多い 確率 (%)
↑ 平年並も40% 以上

梅雨期間降水量

北日本(日)
東日本(日)
北日本(太)
西日本(日)
東日本(太)
西日本(太)
沖縄・奄美

少ない 確率 (%) 50 40 50 多い 確率 (%)
↑ 平年並も40% 以上

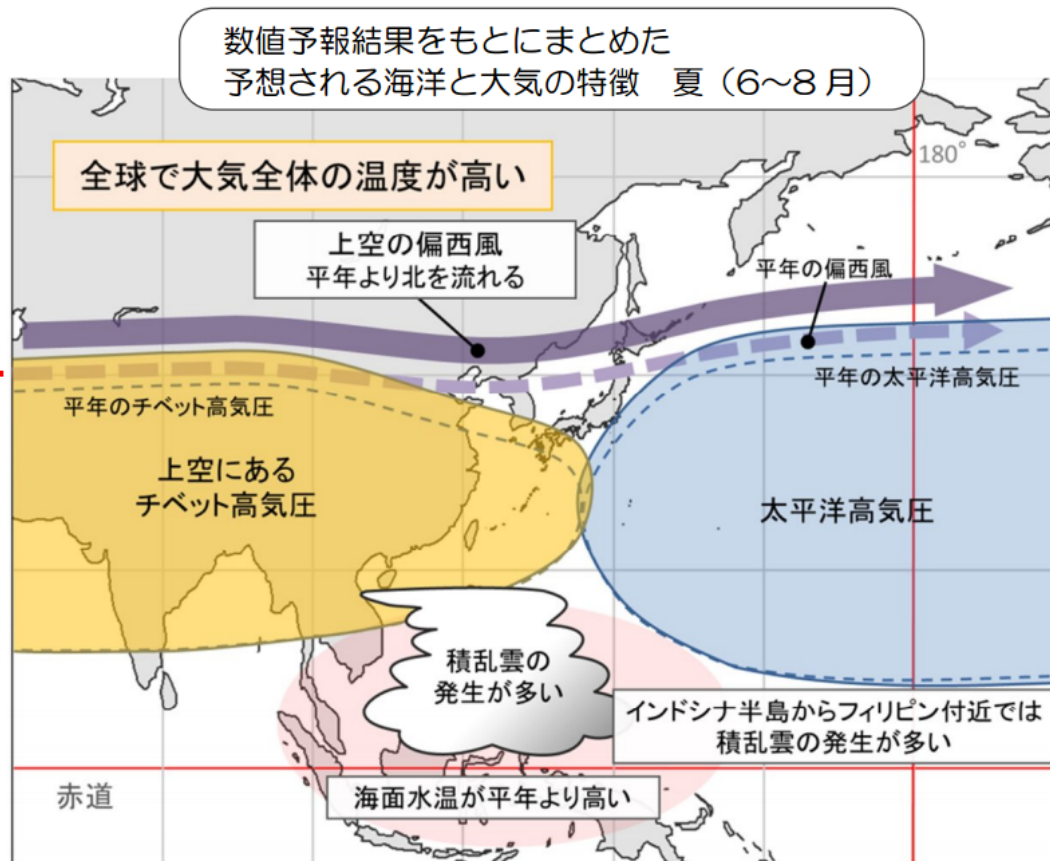
※梅雨の時期・・・北・東・西日本では6~7月、沖縄・奄美では5~6月



2017年 夏の天候

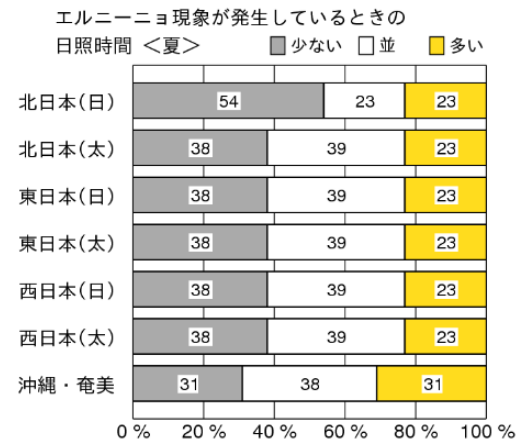
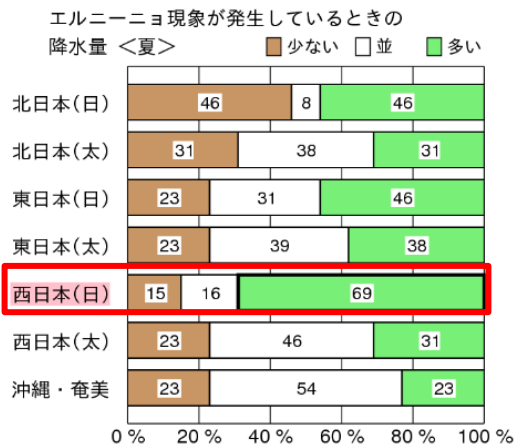
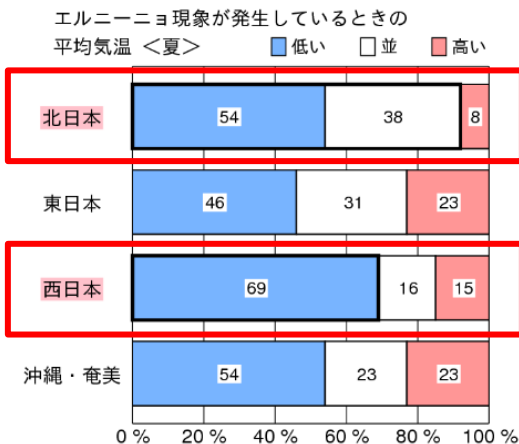
予想される海洋と大気の特徴

- 全球で大気全体の温度が高い見込みです。
- 熱帯の海面水温は太平洋西部で高く、インドシナ半島からフィリピン付近では、積乱雲の発生が多いでしょう。
- このため、上空にあるチベット高気圧は大陸から日本付近で強く、偏西風は大陸から日本付近で平年より北を流れる見込みです。日本付近は暖かい空気に覆われやすいでしょう。また、太平洋高気圧の北への張り出しは強い見込みです。





エルニーニョ現象発生時の日本の夏（6～8月）の天候



平均気温 : 西日本で低い傾向。北日本で並か低い傾向。

降水量 : 西日本の日本海側で多い傾向。

日照時間 : なし。

エルニーニョ現象発生時の夏（6～8月）の天候の特徴
計期間1958年～2012年。棒グラフの数字は出現率を示す。
地域名の赤い帯と棒グラフの太黒枠は統計的に有意な傾向を示す。



まとめ

【春】

- 気温は高めで特に5月は高温傾向が予想されている。エルニーニョの発生が早まり影響が出たとしても、統計的に見るとこの傾向には変化がなさそう。
- 2013年5月のような少雨・多照の可能性も（大陸からの乾燥した空気を伴った移動性高気圧に覆われることが多かった）。

【夏】

- フィリピン付近の対流活動が活発になることが予想され、太平洋高気圧も強められ、北への張り出しも強い。ただし、オホーツク海高気圧の出現も平年程度と考えられ、数日程度は低温の期間が発生する可能性があることは例年と同様。
- 大気全体の温度が高いことから、夏の予報も高温傾向を見込んでいるが、今後エルニーニョ発生予測で修正も。